

シルバードライバー講習会

委託事業 奥羽自動車学校、宮城自動車学校

実施目的

高齢ドライバーによる自動車交通事故の防止を図るため、参加者に心身機能の変化を自覚してもらい、日常の自動車運転に活かしていただくことを目的として実施する。

実施場所 各自動車学校

対象者 高齢者（※1）

開始年度 平成28年

予算 240 千円

実施内容

（内容）

実車を使用した安全運転度チェック、宮城県警察による座学 等

（方法）

委託先自動車学校が持つ設備や敷地を使用し開催する。

（※1）市内在住の65歳以上の方が対象。

URL

飲酒運転根絶啓発用品の購入・配布

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

直轄事業

実施目的

飲酒運転が引き起こす事故の危険性、悲惨さ、責任の重大性を市民に向けて広く周知し、飲酒運転根絶意識の高揚を図ることを目的に実施する。

実施場所

市内

対象者

成人

開始年度

予算

726 千円

実施内容

(内容)

各区役所や支所において、飲酒運転根絶にかかるキャンペーンやイベント等にあわせて、呼びかけを行うとともにチラシや啓発用品等を配布する。

また、宮城県より提供されるチラシや啓発用品等を各区役所や母の会、外郭団体を通して配布する。

(方法)

上記のとおり

URL

自転車交通安全教室事業

直轄事業

実施目的

子どもたちが楽しみながら自転車の交通ルールを学び、歩行者・自転車・自動車が安全に利用できる環境づくりの一助とすることを目的に実施する。

実施場所 市内小学校、交通公園

対象者 児童、保護者

開始年度 平成31年

予 算 105 千円

実施内容

(内容)

・ 小学校における自転車交通安全教室

自動車学校に業務委託し、講話のほか、自転車シミュレーターを使った模擬走行を実施する。
(実施予定校：1 校)

・ 交通公園

交通公園内の自転車コース等において実際に自転車に乗って交通ルールを学ぶ交通安全教室を開催する。園内で自転車に乗ることができるのが小学生以下のため、実車走行は児童、ルール教室は児童とその保護者を対象とする。

(方法)

・ 小学校における自転車交通安全教室

通年で市内の小学校から実施依頼を募集し、実施する。

・ 交通公園

市内の交通公園で開催する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

自転車安全利用啓発チラシ・パンフレット配布

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

直轄事業

実施目的

自転車の安全利用や交通ルールの理解、ヘルメット着用及び自転車損害賠償保険等への加入促進を図ることを目的に実施する。

実施場所

市内各所

対象者

市民一般

開始年度

昭和56年

予算

1409 千円

実施内容

(内容)

自転車の安全利用や交通ルールの理解、ヘルメット着用及び自転車損害賠償保険等への加入促進を図るため、広報媒体を作成、市内各所で掲示や配布することにより啓発活動を行う。

- ①街頭啓発活動等の際に、配布する。
- ②市内高校の新1年生に自転車のルールブックを配布する。
- ③区役所が小学校と共催する交通安全教室においてリーフレットを配布し、自転車ルール・マナー理解の一助とする。

(方法)

上記のとおり

URL

<https://www.city.sendai.jp/jitensha/kurashi/anzen/anzen/kotsu/jitensha/keihatsubutsu.html>

モデル事業

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

直轄事業

実施目的

市民協働による安全に自転車を利用する意識を高める取組を具体的に進めるため、地域等と連携し、自転車のルール・マナー遵守意識の醸成と安全利用意識の向上を図ることを目的に実施する。

実施場所

市内 6 モデル地域

対象者

市民一般

開始年度

平成26年

予算

2867 千円

実施内容

(内容)

市内に 6 つのモデル地域を選定し、県警察をはじめ、地域の関係団体と連携し、モデル地域において積極的に自転車のルール・マナーに関する啓発活動を実施する。

(方法)

モデル地域において遵守率調査を実施することにより地域毎の課題を共有し、それぞれの課題に対応する効果的な取組を検討・実施した上で、その効果を継続的に検証していく。

具体的な取組としては、啓発用品やチラシ等の配布、横断幕やポスター、のぼり旗等の掲出等を実施する。

URL

<https://www.city.sendai.jp/jitensha/kurashi/anzen/anzen/kotsu/jitensha/torikumi2.html>

自転車安全利用啓発イベント

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

直轄事業

実施目的

仙台市内各所で自転車のルール・マナーの啓発を街頭で行うことや、本市公共交通推進課主催「交通フェスタ」会場内でのルール啓発及び自転車シミュレーター体験など楽しく自転車の交通ルールやマナーを学ぶ機会を創出することで、自転車の安全利用に対する関心を高めることを目的として実施する。

実施場所

市内

対象者

市民一般

開始年度

平成30年

予算

0 千円

実施内容

(内容)

街頭啓発：人通りや自転車利用が多い街頭で、声がけのほか反射材やチラシの配布を予定している。

交通フェスタ：ルール啓発ブースのほか、自転車シミュレーターでの体験などを実施予定。

URL

https://www.city.sendai.jp/kokyo/20251001_festakisyakaiken.html

市内中学・高等学校等におけるスケアード・ストレイト方式による交通安全教室

委託事業 (有) シャドウ・スタントプロダクション

実施目的

自転車の事故現場を再現し、参加者の視覚に訴える交通安全教室とすることで、自転車の安全利用に対する意識を高めることを目的に実施する。

実施場所 市内中学校、高等学校^(※1) 対象者 中学校、高校生

開始年度 平成24年 予算 2750 千円

実施内容

(内容)

会場の高等学校等の生徒を対象として、スケアード・ストレイトを用いた交通安全教室を行い、交通事故の危険性や注意点等について解説する。

(方法)

交通安全啓発スタント業務取り扱い業者と業務委託契約を締結し、交通安全教室を開催する。

(※1) 市内中学校、高等学校にて計5校で実施。

URL

<https://www.city.sendai.jp/jitensha/kurashi/anzen/anzen/kotsu/jitensha/torikumi2.html>

ヘルメットモニター事業

直轄事業

実施目的

自転車用ヘルメットモニターを募集し、自転車利用時にヘルメットを着用してもらうことで、市民のヘルメット着用意識の向上を図るとともに、ヘルメット着用等にかかるアンケートを実施し、その結果を今後の本市の取り組みの検討に活用する。

実施場所

市内

対象者

市民一般

開始年度

令和 6 年

予 算

1166 千円

実施内容

(内容)

- ・自転車乗車時におけるヘルメットの着用
- ・市が作成するアンケートへの回答（3回）

(方法)

市政だよりや各種広報紙等での広報によりヘルメットモニターを募集する。募集定員を上回った場合は、抽選を行いヘルメットモニターを決定する。

自転車乗車時に市が提供する自転車用ヘルメット（1名につき1個）を着用する。

※令和6年度は高校生を対象に事業実施。令和7年度は20代～40代を対象に事業実施。令和8年度は50歳以上を対象に事前講習も併せて開催し事業を実施する予定。

URL

<https://www.city.sendai.jp/jitensha/kurashi/anzen/anzen/kotsu/jitensha/helmet03.html>

高
齢
者こ
ど
も中
高
生シ
ー
ト
ペ
ル
ト
チ
ャ
イ
ル
ド
シ
ー
トイ
啓
ベ
発
ン
運
ト
動調
査
研
究市
民
参
加自
転
車
等反
射
材飲
酒
運
転
根
絶そ
の
ほ
か

YouTubeバンパー広告事業

委託事業 選定中

実施目的

自転車事故の多い中高生向けにYouTubeバンパー広告を活用した啓発動画の配信を実施し、幅広く自転車のルール等を周知する。

実施場所 YouTubeバンパー広告

対象者 市民一般

開始年度 令和 8 年

予 算 611 千円

実施内容

(内容)

令和 6 年度に行った高校生を対象とした自転車ヘルメットモニターのアンケート調査では、「動画での発信」、「SNS」での啓発方法が効果的であるとの意見があったため、若者が目にする機会の多い、YouTubeバンパー広告を活用して啓発動画を流し、幅広く自転車のルール等を周知していく。

(方法)

YouTubeバンパー広告を活用して啓発動画を配信する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

大学と連携した自転車安全利用啓発ポスター作成事業

直轄事業

実施目的

大学と連携し、若い世代の視点を活かした自転車の安全利用啓発ポスターをデザインし、制作したポスターを市内各所に掲示することで、特に若年層への訴求を図ることを目的に実施する。

実施場所

市内大学

対象者

市民一般

開始年度

令和 2 年

予 算

390 千円

実施内容

（内容）

大学で美術やデザインを学ぶ学生を対象に、自転車安全利用に関するポスターデザインの授業を行い、学生自身が自転車交通安全の内容やその重要性を学ぶとともに、市内各所での制作したポスターを掲示することで啓発活動を行う。

（方法）

上記のとおり

URL

<https://www.city.sendai.jp/jitensha/kurashi/anzen/anzen/kotsu/jitensha/torikumi2.html>

大学と連携した自転車安全利用啓発品作成事業

直轄事業

実施目的

大学と連携し、若い世代の視点を活かした自転車の安全利用啓発品を制作することで、特に若年層への訴求を図ることを目的に実施する。

実施場所 市内大学

対象者 市民一般

開始年度 令和 8 年

予 算 150 千円

実施内容

（内容）

学生が自転車のルールを含む交通安全について学び、学生（若者）の視点による交通安全にかかる啓発用品を提案してもらい、採用した啓発用品を各種イベントや街頭にて配布し啓発を行っていくもの。

（方法）

上記のとおり

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

自転車組合と連携した自転車点検整備促進事業

直轄事業

実施目的

自転車の安全利用における点検・整備の必要性を啓発するとともに、点検時のチェックポイントを教えることで、利用者が日常的に自転車の状態を把握し、点検整備意識の向上につなげることを目的に実施する。

実施場所

長町駅東口駐輪場 他

対象者

市民一般

開始年度

令和 4 年

予 算

40 千円

実施内容

（内容）

- ・ 専門家（宮城県自転車軽自動車商業協同組合）による自転車の無料クイック点検
- ・ 自分で日常的にできる点検方法の説明
- ・ 自転車安全利用ポスターの展示
- ・ 参加者への交通安全啓発グッズ（反射材等）の配付

（実施方法）

- ・ 通行する方に声がけをし、専門家による 3 分程度の自転車の無料クイック点検を行う。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

交通安全教育指導事業【1】

委託事業 公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団

実施目的

交通安全教育を通じて、市民の安全で快適な生活環境の保持及び向上に資することを目的に実施する。

実施場所 市内各所

対象者 高齢者、こども、保護者等

開始年度 平成13年

予算 44771 千円

実施内容

（内容）

1 交通安全教育

市民センター、町内会集会所、老壮大学、老人クラブ、幼稚園、認定こども園・保育所（園）、児童館等において、交通安全指導員による出前式の交通安全教室を開催する。

①高齢者対象

町内会等の各種会合において、講話や視聴覚教材等による交通安全指導や反射材用品の普及啓発の他、身近な地域で発生した交通事故事例の紹介等を行う。

②こども対象

幼児と保護者向けに、手作りの人形劇や実技を通して、飛び出しの危険性、信号の見方、横断の仕方、チャイルドシートの使用等について指導する。

③保護者対象

市内にある児童館等で、幼児や児童の保護者に対して、交通安全教育を実施する。

（方法）

1 市内の幼稚園、保育所（園）、児童館等の施設に開催案内を送る他、市政だよりや各種広報紙等での広報により受講団体を募集する。申し込み団体と場所、時間等を調整のうえ、指導員を派遣して実施する。

（【2】に続く）

URL

交通安全教育指導事業【2】

委託事業 公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団

実施目的

交通安全教育を通じて、市民の安全で快適な生活環境の保持及び向上に資することを目的に実施する。

実施場所 市内各所

対象者 市民一般

開始年度 平成13年

予算 44771 千円

実施内容

（【1】からの続き）

（内容）

2 違法駐車等防止活動

「違法駐車等防止助言、啓発活動実施要領」に基づき、違法駐車等防止重点地域を巡回し、違法駐車等の防止に関する助言及び啓発活動を実施する。

3 自転車の安全利用啓発活動

「都心部自転車通行禁止区間における自転車安全利用啓発活動実施要領」に基づき、自転車通行禁止区間である都心部東西・南北アーケード内を巡回し、自転車の安全利用に関する助言及び啓発活動を実施する。

（方法）

2 週に約4日間実施する。2地域で各4回、計8回の活動を4日間中に行う。通年。

3 月に20～24回程度行う。

URL

交通指導隊運営

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

直轄事業

実施目的

道路交通の安全を保持するために交通指導隊を設置し、警察や交通安全協会などと連携し、交通事故防止に向けた活動を行う。交通指導隊は、警察や交通安全協会などとの緊密な連携の下に、交通の安全指導を行い、もって交通秩序の保持および防止に努めている。

実施場所

市内

対象者

市民一般、特に幼児・児童

開始年度

昭和62年

予算

12961 千円

実施内容

仙台市は、隊員に対する職務報酬・出勤報酬の支払いや被服貸与を行うほか、研修参加の補助、各種表彰の実施等により活動支援を行っている。

URL

<https://www.city.sendai.jp/jitensha/kurashi/anzen/shidoutai/shidoutai.html>

高齢者世帯等訪問

補助事業 仙台市交通安全母の会連合会

実施目的

市内における交通事故のうち高齢者の事故の割合が高く、本市交通安全市民運動の重点としても「こどもと高齢者の交通事故防止」を定めており、その対策の一環として実施。

実施場所

市内

対象者

高齢者

開始年度

平成 4 年

予 算

900 千円

実施内容

(内容)

仙台市交通安全母の会連合会会員が各高齢者宅を訪問等し、交通安全の呼びかけや啓発用品及びチラシの提供等を行う。

(方法)

仙台市交通安全母の会連合会に補助金を交付し、会員が各地区の計画に基づき高齢者世帯を訪問等し啓発活動を行う。

※上記予算額については、仙台市交通安全母の会連合会の運営補助についての総額（予算）である。

URL